

国立大学法人富山大学 学術研究部教育学系 教員公募

1. 部 局 名 学術研究部教育学系（人間発達科学部）
2. 職名及び人数 講師（任期10年，再任可） 1名
3. 専 門 分 野 英語学
主な担当科目
○人間発達科学部 英語学，コミュニケーション音声学，行動としての英語コミュニケーション（全学教職を含む）
○教養教育 英語コミュニケーション，英語リテラシー
○その他大学院の講義及び演習
※組織改革に伴って，担当授業科目に変更が生じる可能性があります。
4. 応 募 条 件
 - ・当該領域に関して修士以上の学位を有し，大学院修士課程の授業・研究指導ができること。
 - ・研究機関誌等に発表された研究業績が3編程度以上，又はそれに相当する業績を有する者
 - ・大学又はそれに準ずる高等教育機関における教育経験を有する者又はこれと同等以上の教育能力を有する者
 - ・科学研究費補助金等外部資金の獲得に意欲がある者
 - ・地域貢献活動等，全学的活動に積極的に寄与できる者
 - ・英語で講義できること。
5. 住 所 採用後は，富山市またはその周辺に居住すること
6. 採用年月日 令和4年4月1日
7. 応募締切日 令和2年10月9日（金）必着
8. 応募書類
 - (1) 履歴書（様式1）
（注）右肩に顔写真をはり付けること
 - (2) 教育研究業績書（様式2）
（注）研究業績の作成に際しては，著書，学術論文（査読の有無を明記），その他（総説・解説等，学会発表）に分類したうえで，それぞれ発表年月日の古い順に連番を付して記載すること。主要業績5編以内に関しては該当する連番を○印で囲むこと。共著・分担執筆については，実際に掲載された順番に名前を明記すること。
 - (3) 全研究業績の実物（コピー可，各1部）
 - (4) 主要業績5編以内の概要（各500字程度）
 - (5) 現在までの教育・研究・社会活動等の主な成果（2,000字程度）
（注）実績の中に過去5年以内における競争的資金の獲得状況も記述すること
 - (6) 最終学歴の証明書（コピー不可）
 - (7) 推薦書（無い場合は，応募者の業績・人物について照会できる方1名の氏名・所属・連絡先〔電話番号・メールアドレス等〕を記したもの）
 - (8) 提出書類はA4判用紙で統一すること（研究業績の実物，推薦書はその限りでない），履歴書（様式1）及び教育研究業績書（様式2）につ

- いては、紙媒体と CD-ROM 等の電子媒体の両方を提出すること
- (9) 応募者の連絡先（電話番号及びメールアドレス）を記載した書類（様式任意、名刺可）

※ 様式は、富山大学のホームページの教職員採用情報からダウンロードできます。

<https://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>

提出書類に含まれる個人情報、選考及び採用以外目的には使用いたしません。

9. 応募書類提出先

〒930-8555 富山市五福 3190

国立大学法人富山大学 学術研究部教育学系長 大川 信行

封筒の表に「人間発達学部教員公募(英語学)関係書類在中」と朱書きの上、簡易書留にて郵送のこと

10. 問い合わせ先

- (1) 公募内容及び研究等について

〒930-8555 富山市五福 3190

国立大学法人富山大学人間発達科学部

教授 内藤 亮一

TEL 076-445-6350

e-mail: naitoh@edu.u-toyama.ac.jp

不在の場合は、人間発達科学部総務課 TEL 076-445-6251

- (2) 給与等について

国立大学法人富山大学総務部人事課

TEL 076-445-6524

11. その他

- (1) 選考の段階で面接並びに担当予定科目の模擬授業を実施する場合があります。その際の旅費等は、ご自身で負担願います。
- (2) 必要に応じて、別途資料を提出していただくことがあります。
- (3) 応募書類は原則返却しませんが、返却を希望する場合は、宛先を記した返信用封筒（料金分の切手又は着払いの伝票を貼付したもの）を同封してください。
- (4) 労働条件については、本学職員就業規則によることとし、給与は学歴・職務経験等を考慮して決定されます。また、本学では令和2年4月1日から新年俸制(退職時に退職手当を支給する年俸制)を導入し、本公募による採用者も新年俸制を適用します。

○富山大学では男女共同参画を推進し、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

文部科学省平成27年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の採択を受けて、出産・子育て・介護などのライフイベントのため、研究を中断した女性研究者の支援や、国際的視野に富む女性研究者の育成に取り組んでいます。

[富山大学ダイバーシティ推進センター] <http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/>